

北朝鮮のミサイル発射に断固抗議する声明

本年11月18日午前10時14分頃、北朝鮮が、平壤近郊から1発の弾道ミサイルを東方向に発射し、午前11時23分頃、北海道渡島大島の西方約200キロメートルの我が国排他的経済水域（EEZ）内に落下したものと推定されている。

我が国をはじめとする国際社会が、北朝鮮に対し再三にわたり強くミサイル発射の自制を求めてきたにもかかわらず、幾度も発射を強行し、我が国の排他的経済水域に落下したことは、我が国のみならず東アジア地域全体の平和と安定を損なう行為であり、許しがたい暴挙である。

今回のミサイル発射が、弾道ミサイル技術を使用したいかなる発射も行わないことを北朝鮮に義務付けた国連安全保障理事会決議や、日朝平壤宣言にも違反することは明らかである。

よって、練馬区および練馬区議会は、北朝鮮のミサイル発射に対して厳重に抗議するとともに、国連安全保障理事会決議等に違反する行為を今後行わないよう強く求めることをここに表明する。

令和4年11月21日

練馬区長 前川 燿男
練馬区議会議員 藤井 たかし